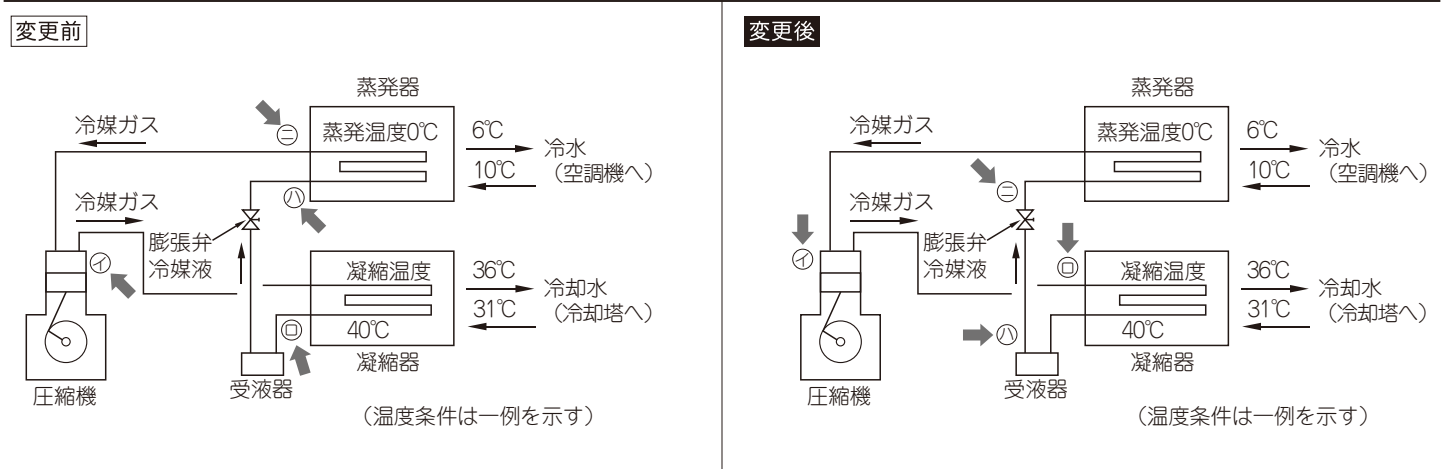


よくわかる建築配管 2 建築配管編
2→3 刷 変更箇所一覧

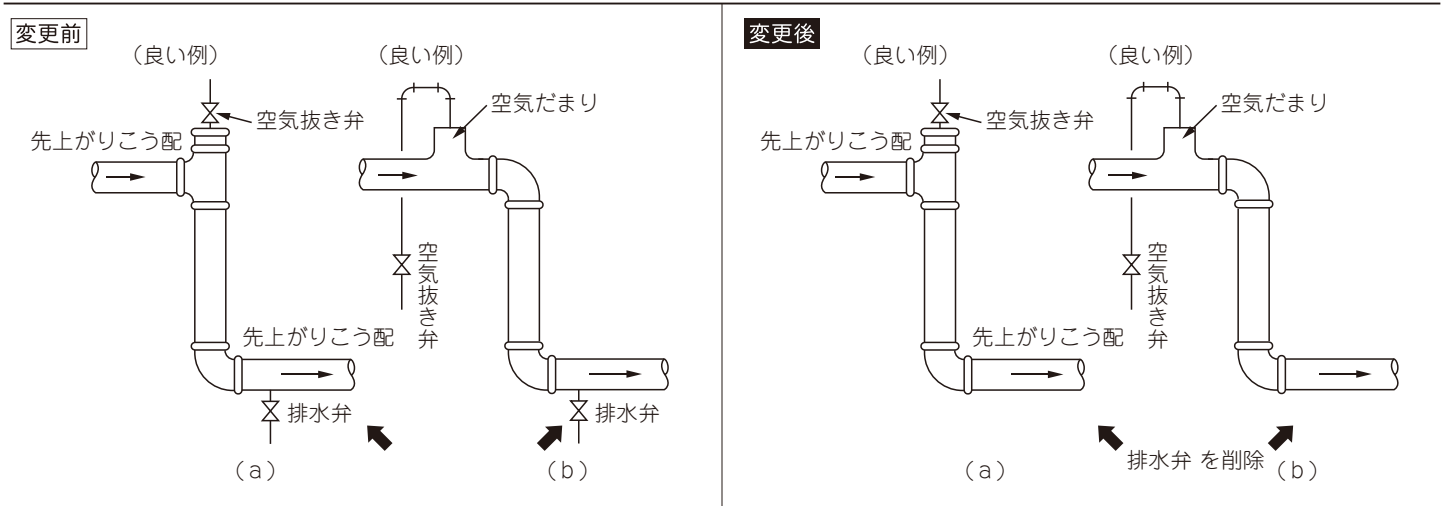
P.138 図8-169 図中の①～④の位置を変更 (→に示す部分)



P.142 表8-19の欄外(下側)に下記を追記

以前は、R-22、R-11、R-12、R-113が使われていた。

P.248 図10-104 図中の(良い例)(a)(b)の「排水弁」を削除 (→に示す部分)



P.251 下から3行目「(3) インサートなどの事前準備工事」の本文と図10-110を変更

(3) インサートの事前準備工事

配管の支持のためには、コンクリート打設前にインサートを型枠やデッキプレートに取り付けておく必要がある。インサートの例を図10-110に示す。

合板一般用	合板断熱用	デッキ一般用
 <p>軽設備用 重設備用</p>	 <p>軽天～ 重設備用 軽設備用</p>	 <p>重設備用 重設備用</p>

(画像提供：株式会社 三門)

図10-110 インサート

インサートを取り付けるときは次の点に留意する。

- ① 金物は、型枠などに容易に固定でき、コンクリートへの密着強度の高いものとする。
- ② 金物は、管及び機器の支持に対して十分な強度がある。
- ③ インサートに連結するつりボルトとは、ねじ接合とする。

これらのインサートは将来配管が通るルートに、コンクリート打設前に精度よく取り付けておく必要がある。この準備を怠ると、配管時に別途アンカなどを取り付ける必要があり、施工性が悪くなる。また、強度的な信頼性も、先付けのほうが優れる。